



「いざ」に備えて考える



昨年に引き続き、オフィス及川防災プランニング代表の及川太美夫^{たみお}さんを講師に迎え、当別町防災セミナーがゆとろで開催されました。「いざに備えるために、今、地域・家庭・グループでできることはなにか？」などについて、参加者はグループに分かれて話し合いました。「町内会や班単位で、日頃から多くのコミュニケーションをとることが、災害時の連携がスムーズにいく」など多くの意見が出ていました。(9月8日)

多くの来場者！福祉まつり



町内福祉団体などが一堂に会し、「福祉まつりふれあい広場（実行委員会主催）」がゆとろで行われました。多くの飲食・販売ブース、初開催の足つぼ刺激マットを使った「みんなイキイキ♪健康レース」や団体によるパネル展示など盛りだくさんの内容。創作劇「多職種戦隊ゴレンジャー」では、生活困難を間もなく迎える高齢者と小学生の二人暮らしのお話で、この先健康的でよりよい生活を送るために必要な町の医療、福祉や介護などの制度紹介を、ゴレンジャーに扮^{ふん}して分かりやすく来場者に説明していました。(9月7日)

高齢者の安全を地域で支える訓練



高齢者が徘徊^{はいかい}などで行方不明になった状況を想定した模擬訓練が、北栄町町内会で実施されました。訓練では、行方不明者の特徴を手がかりに地域の方が各方面に分かれて認知症役を搜索し、会館へ連れてくるというもの。事前の講座では、認知症の人と接する時の心構えとして「おどろかせない。急がせない。自尊心を傷つけない」と確認し、搜索を始めました。「手がかりと同じ特徴の方を発見しても行方不明者かわからないので、話しかけるのに戸惑った」など、搜索側の不安な感想も聞かれました。(9月12日)

広告

広告

広告

広告

願い届け！ストップ・ザ・交通事故



交通事故死ゼロ連続 1000 日を目指すセーフティコールが、国道 275 号沿い（宮永建設前）で実施されました。秋の全国交通安全運動と当別高の交通安全キャンペーンを併せて実施したもので、当別高校生 30 人を含む交通安全関係団体関係者計 145 人が、交通安全の旗を手に事故防止を啓発しました。当別高生は手作りの交通安全メッセージカードとパウンドケーキ、種から育てたオジギソウの鉢植えをドライバーへ配布し、安全運転を呼びかけました。みんなの心がけと安全確認で交通事故防止に努めましょう。（9月20日）

道の駅とうべつ 2 周年！



北欧の風 道の駅とうべつは、オープンから 2 周年を迎えました。オープン記念の 9 月 23 日には、先着 100 名の来場者へ紅白まんじゅうがプレゼントされ、札幌市西区から訪れた主婦の方は、「オープンしたことはテレビなどで知っていましたが、初めて来ました。2 周年記念の良い日に来たので、たくさん買って帰ります」とお話してくれました。9 月 14 日から 23 日までは「周年祭」が行われ、館内 5 店舗では当別町産の小麦やお米を使った「2 周年記念限定メニュー」も販売され、大好評でした。（9月23日）



広告

広告

広告

広告